

# 市報 やまぐち

2024

5/1

May

No.434



特集

特別対談

モドさんと語る「山口市」の魅力

2

特集

知って防ごう消費者トラブル

6

■

山口市の財政状況

8

■

市政トピックス

10

■

県央連携都市圏域の魅力を紹介「山口ゆめ回廊」

12

■

野菜を使った2つの食材でできるお弁当のおかず

13

# 特別対談 モドさんと語る「山口市」の魅力



ニューヨーク・タイムズ紙に  
山口市を推薦したライター  
クレイグ・モド氏

神奈川県鎌倉市在住の作家、写真家。  
早稲田大学への留学を契機に日本在住24年目。  
東海道や萩往還など、日本各地はもとより世界  
中を歩いて取材されており、山口市を訪れるの  
は今回で3回目。

ち良く散歩ができるまち」、「歴史の響きがあるまち」、「大自然と向き合えるまち」、そして、レコードの「B面」に隠れた名曲があるように、東京や京都が「A面」だとしたら、「B面」に収録された名曲のような隠れた魅力があるまち」です。山口市には、それらが全て揃っていました。

ます。昨年、NYT紙の編集者に「行くべき52カ所」を聞かれたときには、以前から応援したかった山口市をすぐに推薦しました。広島や福岡から行きやすく、深みのある歴史や優れたデザインの庭園などを紹介する良いチャンスだと考えました。

**モド氏** 山口市を訪れたときに私が最も感動したのは、「住民の優しさ」です。日本全国を巡ってきましたが、今までで一番すぐに「友人」として受け入れてくれたまちでした。他人に対しても温かい挨拶をしてくれまます。今日もここへ来る前に散歩をしながらいくつか市内のお店に入りましたが、みんな温かく対応してくれました。山口市の住民からは、そんな温かさや心の余裕を強く感じるので。例えば、萩往還を歩いたときも、ガイドさんにとっても丁寧に説明していただき、素晴らしかったです。古き良き街並みや歴史もさることながら、住民が主役であることも私の心に響いていました。



維新の志士たちも歩いた歴史の道「萩往還」。  
やまぐち萩往還語り部の会の皆さんが心のこもったガイドでおもてなしをしています。

## 「山口市はレコードの『B面』に収録された名曲のような隠れた魅力があるまちです」

温かく、心に余裕がある住民に感動

**市長** ようこそ山口市へお越しく下さいました。このたびはNYT紙の「2024年に行くべき52カ所」に山口市を推薦していただきありがとうございます。市民の皆さんもとても喜んでます。本市を推薦された思いなどをモドさんから直接お伺いしたいと思います。

**モド氏** 私はこれまで、日本全国を歩き、数多くのまちを見てきました。その中で、私が思う良いまちとは、「商店街や個人、特に若者が営むお店が元気なまち」、「気持ちよく、心に余裕がある住民に感動



## 人とまちの「深み」を味わう

**市長** モドさんのそうした視点や考え方は、田舎と都会の中間領域にある地方都市に光を当てていただいたと受け止めています。

**市長** 洗練された観光客は、いかにも「観光地」といったところではなく、暮らす人の豊かな日常の様子を見て、楽しむということでしょうか。

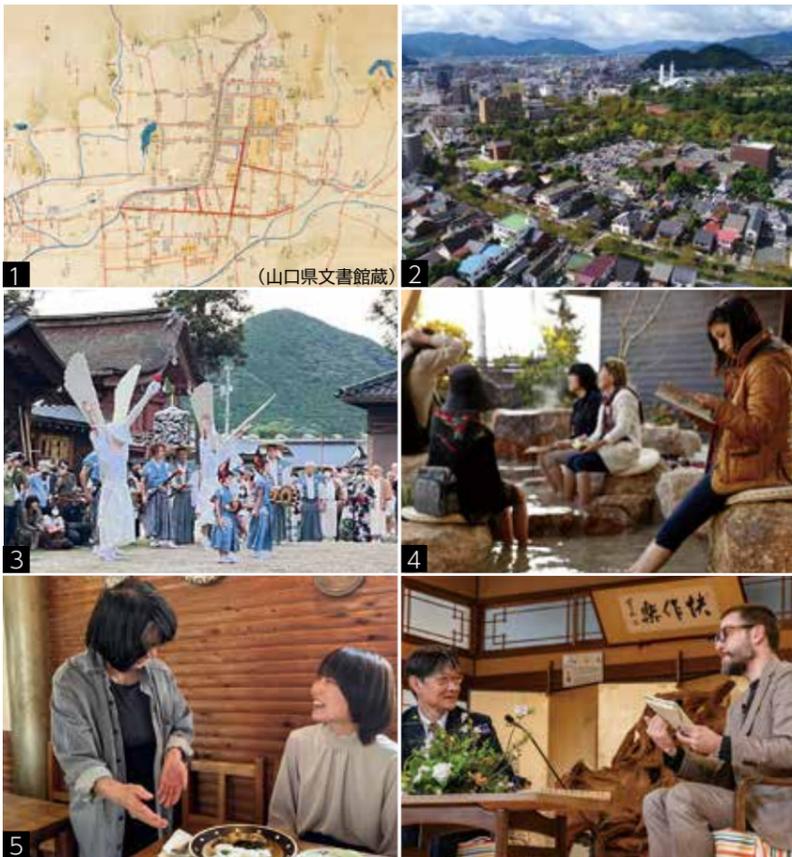
**モド氏** そうですね。そういった観光客は、日常生活やその国の文化と静かに向き合い、深みを感じ、住民との会話や挨拶を交わすなど「オーセンティック（本質的）な経験」を求めています。旅をする目的は、実はそこにある。有名な観光地に行くことが全てではないのです。山口市は、そういった「オーセンティックな経験」をするには非常に向いています。混雑が起こっている観光地ではそれが難しくなっています。



**モド氏** 大都会だけの生活では人生の選択肢が限られるように思うのです。山口市のように、活気があり、住民の生活に余裕を感じられるような地方都市での暮らしや旅は、人生の選択肢を豊かにします。今後、あるべきまちの姿の一つの

**市長** なるほど。そんな山口市での滞在の中で、モドさんが市民との交流の場として印象深い場所がありますか。

本年1月、ニューヨーク・タイムズ紙（以下、NYT紙）の「2024年に行くべき52カ所」の3番目に本市が選ばれました。この52カ所は、各国で活動する記者やライターの推薦に基づき選定されています。このたび、NYT紙に本市を推薦したライターである「クレイグ・モド氏」を山口市へお招きし、市長との対談を行いました。  
今回の特集では、対談の中で語られた、モド氏が山口市を推薦した理由や山口市の魅力などを紹介します。  
☎ 観光交流課 ☎ 083・934・2810



室町時代、大内氏が京の都に模したまちづくりを行い、大いに栄えたことが山口のまちのはじまりといわれています。それから650年を超える長い時を経て、築かれたまさにその礎の上に、私たちが暮らす今の山口市が広がっています。

そんなまちを舞台に、日々の暮らしの中の営みや、人と人との関わり合い、その中で生まれる心情の移ろい…さまざまなシーンが繰り広げられています。そこには一人一人それぞれの無数の物語があり、それらがまるで点描のように集まって、たった一つのまちの物語が紡がれているのです。

1. 大内氏時代の山口を描いた山口古図
2. 現在の山口市
3. 山口祇園祭の鷲の舞
4. 湯田温泉の足湯
5. 喫茶店での交流

**モド氏** 山口市での滞在では、個人が営む喫茶店に行き、会話をすることで店主の哲学やこだわりに触れることができました。そういう話が聞けるのは、私にとっては宝物なのです。

喫茶店でのコミュニケーションからは、店主やお客さんそれぞれの充実した人生を感じ取ることができます。そして、もう一つ感じるのは、このように市民一人一人が心地よく豊かな人生を選択することができているのは、山口市の風情や文化的な風土がまちのベースにあるからだということですね。

「市民一人一人が豊かな人生を選択できるのは、山口市のまちだからこそだと思います」



「山口市はとても良いまちだということを感じてください」

**引き継がれるべき山口市の魅力と誇り**

**市長** これから先の山口市の在り方について、メッセージをいただけますか。

**モド氏** 住んでいると、その場所の良さが見えづらくなることがあります。しかし、全国を巡った中でも山口市は本当に特別なまちです。まずは、山口市はとても良いまちだということを感じていただきたいです。

また、今後も引き続き、このまちの歴史と文化を次の世代につなげていくことができる若者を増やし、彼らをサポートし続けていくことを願います。

**市長** モドさんがおっしゃる、B面に収録された名曲のような山口市の魅力をしっかりと次の世代に引き継いでいきたいと思えます。

モドさんもまた何度も山口市を訪れてください。

**取材を終えて**

モドさんが「レコードのB面に隠された名曲」に例えた、控えめでありながらもきらりと光る山口市。歴史や文化、そして何よりも、そこに息づく人々の暮らしや住民の温かい心を評価していただきました。

このような山口市をつくり上げていただいている市民の皆さんに感謝をすると同時に、忘れてはならないのが、現代の山口市は、先人たちのたゆまぬ努力によって積み重ね

られ、途絶えることなく継承されてきたまちづくりの上に成り立っているということです。

山口市では、この度の評価を素直に受け止め誇りに思いつつ、これからも、市民や観光客の皆さんが本市の魅力を存分に感じていただけるような取り組みを進めていきます。

対談の様子(動画)はこちら▶



対談場所



**山口市菜香亭 大広間**

山口の迎賓館として、明治10年から平成8年までの120年にわたり、政治家や文人などをもてなしてきた料亭「祇園菜香亭」を現在の場所(天花)に移築復元。今年で開館20周年を迎えます。

住所：山口市天花1-2-7  
電話：083-934-3312  
観覧時間：午前9時～午後5時  
休館日：毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始



## 消費生活相談受付フォーム

### 【利用手順】

下の二次元コードを読み取るか、LINEのホームページ画面から「山口市」を検索し、友だち登録



- ①「くらしの情報」を選択
- ②「消費生活相談」を選択



- **電話番号** ☎083・934・7171 / 消費者ホットライン188 (局番なし)
  - **場所** 山口総合支所1階
  - **相談方法** 来所、電話、消費生活相談受付フォーム(市ウェブサイトまたは市LINE公式アカウントから利用可能)
  - **受付日時** 月・金曜8時30分～17時(祝日・年末年始を除く)
- 困ったときは一人で悩まず、消費生活センターにご相談ください。相談は無料で、個人情報を守られます。専門の相談員がお受けし、助言やあっせん等を行います。

一人で悩まず、まずは相談を

# 5月は消費者月間 知って防ごう 消費者トラブル

悪質な電話勧誘や還付金詐欺、架空請求などのさまざまな消費者トラブルは、年代に関係なく、誰でも巻き込まれる可能性があります。令和4年度に市の消費生活センターに寄せられた相談は1,478件あり、年々増加傾向にあります。

こうした消費者トラブルは、事例や対処法を知ること、被害を防ぐことができます。今回は、身近な消費者トラブルや、困ったときの相談窓口「消費生活センター」についてご紹介します。

消費生活センター ☎083-934-7171 FAX 083-934-2663



▲地域のふれあい・いきいきサロンで、消費生活推進員が出前講座を行う様子



市では、地域における消費者啓発を推進し、消費者トラブル被害の防止を図るため、「山口市消費生活推進員」を委嘱しています。消費生活推進員は、地域のふれあい・いきいきサロンや敬老会などの行事などに出向いて、出前講座を行っています。

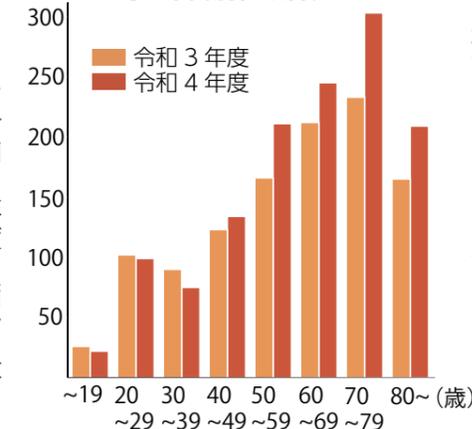
啓発活動を行っています

図② 相談件数の内訳

相談内容	件数
不審な電話やメール・書状	319
通信販売	130
不用品買取	41
アパート・借家	40
多重債務や福祉	40
ローン・サラ金	36
投資・クレジット	20

その他、スマホ購入・使い方、中古自動車購入や買い取りなど

図① 年代別相談件数



令和3・4年度に消費生活センターに寄せられた相談件数の年代別の内訳(図①)を見ると、50歳以上の方が多いものの、各年代から相談があることが分かります。

どんな相談が増えている？

- **講座時間** 30分～1時間程度
- **場所** 市内のご指定の会場
- **内容** 最近多い消費者トラブル、悪質商法とクーリング・オフ、契約とクレジットの基礎知識、SDGs(エシカル消費※、食品ロスなど) など
- **対象** 市内在住で、地域サロン、老人クラブ、PTA、グループ活動などのおおむね10人以上の団体
- **講師** 消費生活相談員、消費生活推進員
- **申込** 開催希望日の1カ月前までに、団体名、代表者名、連絡先、開催日時、場所を、消費生活センターへ ☎083・934・2926

### 消費生活出前講座をご利用ください



▲小学校で、消費生活相談員が出前授業を行う様子

## 令和6年度消費者月間及び悪質商法撲滅街頭キャンペーン

5月の消費者月間に合わせて、SDGsへの取り組みとして、特に、「エシカル消費」と「食品ロス削減」をPRします。併せて、うそ電話詐欺、悪質商法の撲滅のための啓発活動を行います。

当日、ご家庭で使わない食品を気軽に寄贈していただける「フードバンクポスト」を設置します。1カ月以上賞味期限のある食品などをお持ちください。

- **日時** 5月19日(日)11時から
- **場所** 山口市中心商店街 米屋町みずほ銀行前
- **内容** リーフレットや啓発用品の配布など
- **啓発参加団体** 山口警察署、生活協同組合コープやまぐち、NPO法人フードバンクやまぐち
- **その他** 山口県花卉園芸推進協議会(協賛団体)より、山口県オリジナルのユリ「プチシリーズ」の球根をプレゼントします(数に限りがあります)。

## こんなときあなたならどうする？

### 1 不審なメール

スマートフォンやパソコンに、「電話料金の未納が発生しています。本日に連絡がない場合、法的手続きへ移行させていただきます。」などと記載したメールやSMS(ショートメッセージ)が届いた。



ワンポイントアドバイス  
身に覚えのない請求がメールやSMS、ハガキで届いた場合は、記載されている電話番号に電話したり、メールの返信やURLにアクセスしたりしないようにしましょう。

### 2 通信販売

動画投稿サイトの広告を見て、お試し300円のダイエットサプリメントを購入したところ、頼んだ覚えのない2回目の商品発送があり、4回分の購入が条件の定期購入になっていた。



ワンポイントアドバイス  
契約前に、お試し1回の契約なのか、定期購入が条件になっていないか、内容をよく見て、解約・返品できるかなども確認してから購入するかを決めましょう。

### 3 もうけ話

先輩から「簡単に稼げる」と言われて投資を始めた。25万円のマニュアルの購入が必要と言われ、申し込んだところ、個人名の口座に振り込むよう指示された。マニュアルは届いていないが、怪しいので解約を申し込むと、払わなければ所定の手続きを取ると返信があった。

ワンポイントアドバイス  
投資には必ずリスクがあります。高額な電子書籍や情報商材を購入したが、もうからないなどの相談もあります。利益の出る仕組みが分からないまま契約しないようにしましょう。

※エシカル消費…消費者が自ら考え、人と社会・地球環境のことを考慮して作られた物を購入・消費すること

# 山口市の 財政状況

市の予算がどのように執行されているか、令和5年度下半期（令和5年10月1日～令和6年3月31日）の財政状況をお知らせします。

※一般・特別会計とも、会計年度は4月1日から翌年の3月31日までですが、令和6年5月31日までは現金の出し入れがあるため、決算額とは異なります。

◎ 財政課 ☎083・934・2750

## ■ 一般会計

令和5年度一般会計の予算は、当初予算に令和4年度からの繰越額28億8,223万円を含めた、97.9億6,223万円です。スタートしました。その後、増額・減額補正を行い、最終の予算は103.3億9,240万円（市民1人当たり約55万円）となりました。

【主な下半期の増額補正予算】

- ・物価高騰対応重点支援給付金給付事業費等 21億6,200万円
- （国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の活用）
- ・子育て世帯家計応援事業費 3億3,100万円
- （国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の活用）
- ・安心快適住まいる助成事業費 1億8,000万円
- （国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の活用）
- ・水防活動費（排水ポンプ設備の導入） 2億1,200万円

などがあります。

## ■ 特別会計

特別会計は、国民健康保険事業など、特定の目的をもって事業を行う場合に、一般会計と区別して経理するための会計です。3月末現在の特別会計の収支状況は、表2をご覧ください。

## ■ 市債

3月末現在の市債残高見込みは、表3のとおりです。

※市民1人当たりの数値の算出は、令和6年4月1日現在の人口である18万9,395人を参考にしています。

※予算は千円単位ですが、見やすくするため、万円単位で記載しています。

## 2 特別会計の収支状況（3月末現在）

項目	歳入		歳出		
	予算現額	収入済額	執行済額	執行済率	1人当たりの予算執行済額
国民健康保険	203億8,838万円	176億2,247万円	183億4,671万円	90.0%	96,870円
後期高齢者医療	34億5,416万円	31億5,872万円	32億9,923万円	95.5%	17,420円
介護保険	187億6,652万円	155億6,843万円	165億2,694万円	88.1%	87,262円
介護サービス事業	1,563万円	1,064万円	1,253万円	80.2%	66円
鑄銭司第二団地整備事業	9億6,495万円	1億9,739万円	9億6,488万円	100.0%	5,094円
地域下水道事業	755万円	522万円	485万円	64.2%	26円
国民宿舎	2,197万円	1,285万円	1,879万円	85.5%	99円
特別林野	552万円	518万円	491万円	88.9%	26円
合計	436億2,468万円	365億8,090万円	391億7,884万円	89.8%	206,863円

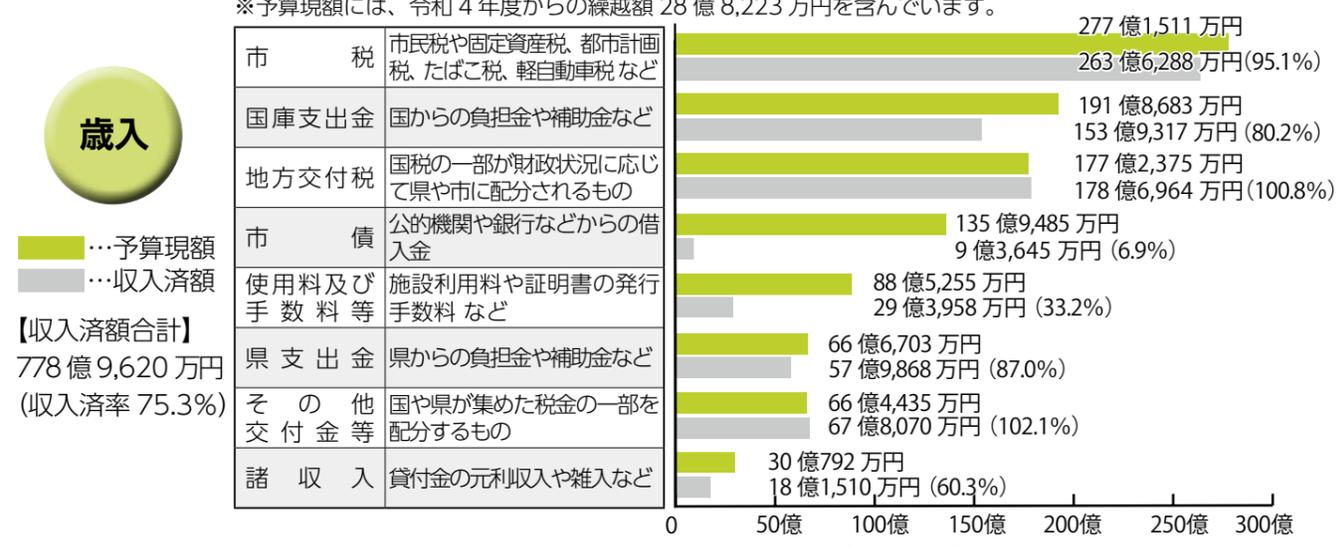
## 3 市債等の状況（3月末現在）

区分	3月末現在高	1人当たりの現在高
一般会計	1,010億3,065万円	533,439円
特別会計	19億756万円	10,072円
合計	1,029億3,821万円	543,511円
上記に 対する 利息	25億648万円	13,234円
一時借入金	0円	0円

市債は、学校や道路、公園などを整備するための借入金です。長期間にわたって使用するこれらの施設については、建設時だけでなく後年度に使用する方にも負担を求め、世代間の負担の公平を図るという効果も有しています。市では、返済計画に配慮しながら将来の世代に過度な負担を残さないよう、国の財政支援措置がある市債を有効に活用し、実質的な将来負担の抑制などに取り組んでいます。

これらの財政状況等は、ウェブサイトからご覧になれます。財政運営の基本方針を示した「山口市財政運営計画」や、本市の財政状況を分かりやすく一般家庭に例えた「山口市の台所事情」も掲載しています。詳しくは【山口市 財政5年度】または、【山口市 台所事情4年度】で検索。

## 1 一般会計の収支状況（3月末現在）

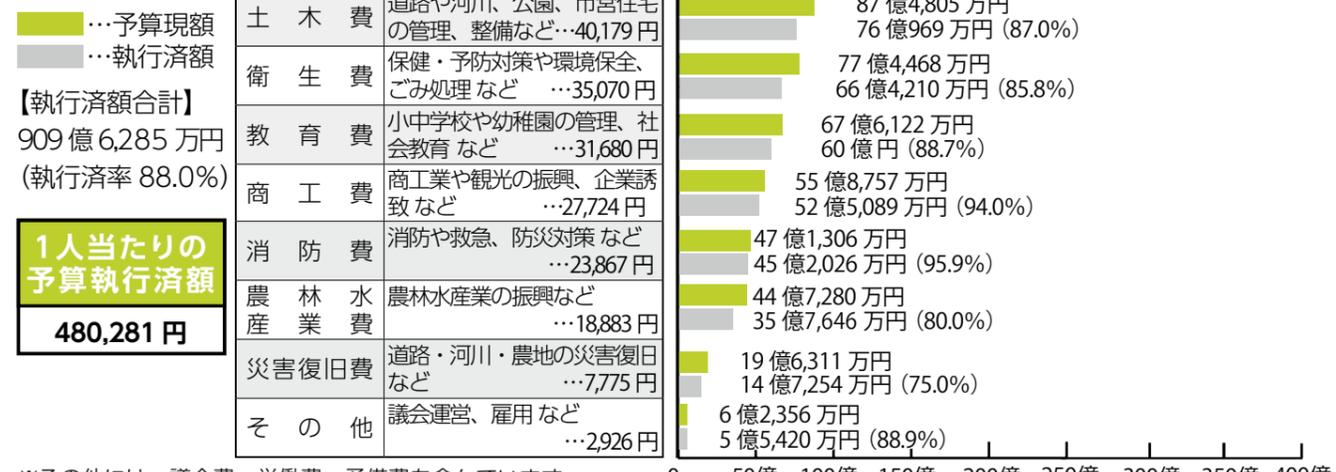


※市債は、対象とする事業完了後の借り入れとなることから、主には出納整理期間中（4月、5月）に借り入れをする予定です。

※使用料及び手数料等には、使用料及び手数料、分担金及び負担金、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金を含んでいます。

※その他交付金等には、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金を含んでいます。

## 歳出



※その他には、議会費、労働費、予備費を含んでいます。



ウェブサイトでも公開中

## 萩山口信用金庫から 寄附金を受領

3月11日(月)、萩山口信用金庫から、ニューヨーク・タイムズ紙が発表した「2024年に行くべき52カ所」の3番目に本市が選出されたことを契機として、観光客等を受け入れるための環境整備等に、300万円をご寄附いただきました。



▲榎山理事長(左)から寄附金の目録を受け取る市長(右)

萩山口信用金庫の榎山一生理事長は「山口市が紹介されたことは大変名誉なこと。おもてなし環境の整備に少しでもご活用いただければ」と思いを語られました。

市長は「萩山口信用金庫様と本市は、地域経済の活性化だけでなく、芸術・文化やスポーツの振興などさ

さまざまな分野で連携した取り組みを進めている。このたびの多大なるご寄附をしっかりと活用させていただきたい」と感謝の意を述べ、感謝状を手渡しました。

いただいたご寄附は、Wi-Fi環境の強化や多言語化への対応、看板の設置など、国内外から訪れた観光客等を受け入れるための環境整備等に活用させていただく予定です。  
☎スマートシティ推進室 ☎083・934・2728

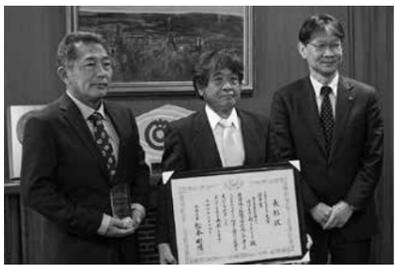
## ほほえみの郷トイトイが「ふるさとづくり大賞優秀賞」を受賞

阿東地域を中心に活動されている特定非営利活動法人ほほえみの郷トイトイ(阿東地福)が「令和5年度ふるさとづくり大賞 優秀賞」を受賞されました。

ふるさとづくり大賞とは、総務省において、ふるさとづくりへの情熱や想いを高め豊かで活力ある地域社会の構築を図ることを目的として創設されたものです。

ミニスーパー併設の地域拠点の開設をはじめ、地域の声を丁寧に集めながら、自ら出向く移動販売事業等の「共感」と「思いやり」を基本にした各種

の事業を展開されてきたことや、地域コミュニティの再構築などの取り組みが評価され、受賞に至りました。



▲左から、ほほえみの郷トイトイの高田副理事長、長安理事長、市長

3月12日(火)、ほほえみの郷トイトイの長安理事長らが市長に受賞を報告されました。高田副理事長は「地域の皆さんの取り組みが評価された。これからも山間部の人口減少に対応しながら、皆さんが笑顔で楽しく暮らせるように、努力しながら活動を続けていきたい」と述べられました。市長は「地域の皆さんも喜ばれているのではないのでしょうか。しっかりとスクラムを組んでやりましょう」と今後の活動への期待を寄せました。  
☎阿東総合支所地域振興課 ☎083・956・0117

## スペイン・ナバラ州訪問団が市長を表敬訪問

3月13日(水)、山口県・ナバラ州

て山口に貢献していきたい」と述べられました。  
同社は本市佐山地域で医薬品・医療機器の製造を行っており、このたびカテテル関連製品の製造設備増設と隣接する敷地(山口テクノパーク内)の取得による製造拠点拡大を行うことを決定されました。増設する設備は令和8年に稼働開始の見込みで、稼働に合わせて約150人の新規雇用を予定されています。  
☎産業立地推進課 ☎083・934・2813



▲協定書を手にするテルモ山口株式会社の坂口代表取締役社長(右)、山口県の小関産業労働部長(中央)、市長(左)

このたび、この湯田温泉パークの愛称について、全国から寄せられた1323点の作品の中から「湯田温泉「こんこんパーク」」に決定し、4月6日(土)の湯田温泉白狐まつりにおいて、愛称募集における最優秀賞受賞者の堤菜絢さんを表彰しました。



▲受賞者の堤菜絢さん(左)と市長(右)

## 湯田温泉パークの愛称決定 湯田温泉「こんこんパーク」

本市では、湯田温泉をはじめとする地域資源を活用し、あらゆる世代の市民や観光客の交流を促進することで、定住人口の増加や交流人口の拡大、多様なにぎわいの創出を目的

姉妹提携締結20周年を記念して州政府のアナ・オジョ・ウアルデ第二副首相が市長を表敬訪問されました。  
本市は昭和55年にナバラ州の州都パンプローナ市と姉妹都市提携を結び、本年2月に44周年を迎えました。オジョ第二副首相はパンプローナ市の出身で、現在、記憶・共存・外務・バスク語大臣を兼任されています。



▲オジョ第二副首相(左)と市長(右)  
※市長が身に付けているスカーフは、パンプローナ市の牛追い祭りで着用する伝統衣装

訪問団をお迎えした市長は「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等における水泳スペイン代表チームのホストタウン登録や、山口大学教育学部附属山口小学校とパンプローナ市のサン・ファン・デ・ラ・カテナ小学校との「英語を通じた学術連携パートナーシップ協定」の締結など、姉妹都市の取り組みが進んでいる。今後も相互交流をしっかりと進めていきたい」と述べました。  
オジョ第二副首相は「40余年にわたる交流は、相互利益をもたらしてきました

として、令和7年度の供用開始に向けて湯田温泉パークの整備を進めています。

このたび、この湯田温泉パークの愛称について、全国から寄せられた1323点の作品の中から「湯田温泉「こんこんパーク」」に決定し、4月6日(土)の湯田温泉白狐まつりにおいて、愛称募集における最優秀賞受賞者の堤菜絢さんを表彰しました。

## 山口グリーンエネルギー株式 会社の設立に係る合弁契約書 締結式

3月18日(月)、本市はNTTアノードエナジー株式会社、山口ケーブルビジョン株式会社、株式会社山口銀行、萩山口信用金庫、山口商工会議所とともに地域新電力会社「山口グリーンエネルギー株式会社」(以下、山口GE)の設立に係る合弁契約書を締結しました。



▲記念撮影の様子  
左から山口商工会議所の河野会頭、株式会社山口銀行の曾我取締役頭取、NTTアノードエナジー株式会社の岸本代表取締役社長、市長、山口ケーブルビジョン株式会社の齋藤代表取締役社長、萩山口信用金庫の榎山理事長

山口GEは、令和4年に国から選定された脱炭素先行地域(中心市街地エリア等)の取り組みの一環として、市と民間事業者による共同出資

3月21日(木)、テルモ山口株式会社と本市が、県の立ち会いのもと、事業所増設協定の調印式を行いました。調印にあたって、市長は「さらなる事業所の増設を決定いただいたことは、若い世代が魅力を感じる雇用の場の創出により、本市や山口県全体の発展に貢献いただけるものと、大いに期待している」とあいさつしました。  
また、テルモ山口株式会社の坂口至代表取締役社長は「このたびの事業所増設を契機に、医薬品・医療機器の安定供給の使命を果たしていくとともに、地域に根差した企業とし

療機器の製造を行っており、このたびカテテル関連製品の製造設備増設と隣接する敷地(山口テクノパーク内)の取得による製造拠点拡大を行うことを決定されました。増設する設備は令和8年に稼働開始の見込みで、稼働に合わせて約150人の新規雇用を予定されています。  
☎産業立地推進課 ☎083・934・2813

この「こんこん」は、湯田温泉の象徴である白狐の鳴き声や、温泉が湧き出るイメージに加え、湯田温泉に来て欲しいという意味の「来ん来ん?」を表現するものとして選定しました。  
今後、イベント等の機会を通じて、「湯田温泉「こんこんパーク」」の積極的なPRを展開します。  
☎湯田温泉パーク整備推進室 ☎083・934・2615

～主食・主菜・副菜を組み合わせよう～

# 野菜を使った2つの食材でできるお弁当のおかず



1日3食、主食・主菜・副菜をそろえて食べる習慣づくりのきっかけになるよう、また、不足しがちな野菜を簡単においしく食べることができるよう、小中学生を対象に「第18回ばく・わたしのお料理コンクール」で、野菜を使った2つの食材でできるお弁当のおかずのレシピを募集しました。その中に入賞作品を紹介します。(学年は昨年受賞時)

入賞作品の作り方などを掲載したリーフレットは、各保健センターにあります。また、市ウェブサイト、市健康増進課インスタグラム(右の二次元コード)でもご覧いただけます。



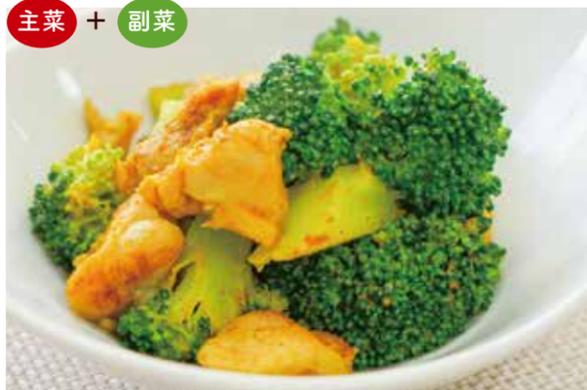
ウェブサイト



インスタグラム

保健センター ☎ 083-921-2666

主菜 + 副菜



阿知須小6年 衛藤杏奈さん考案

## ブロッコリーの カレーいため

【材料(4人分)】

- ブロッコリー……………1株
- 鶏もも肉……………200g
- 塩こしょう……………少々
- サラダ油……………大さじ1
- カレー粉……………小さじ2

【作り方】

- 1 ブロッコリーの房を小さめに切り、茎は皮をむいて短冊切り、葉があれば、みじん切りにしておく。
- 2 鶏肉を一口大に切り、塩こしょうをふる。
- 3 フライパンに油を熱して、鶏肉を焦げ目が付くまで焼く。
- 4 3を裏返して、ブロッコリーの葉以外を入れ、ふたをして、火が通るまで蒸し焼きにする。
- 5 鶏肉に火が通ったら、葉を入れて軽く炒めてから、カレー粉で味付ける。



ブロッコリーは葉も茎も使おう!



副菜



## じゃがいものしりしり風

【材料(4人分)】

- じゃがいも……………3個
- ツナ缶……………1缶
- 塩……………ひとつまみ
- みりん……………大さじ1
- 粉チーズ……………適量
- ブラックペッパー……………少々
- 乾燥パセリ……………少々

【作り方】

- 1 ジャがいもを細いせん切りにして、水に5分間浸す。
- 2 フライパンを熱して、ツナ缶の油を入れる。
- 3 1の水気をよく切って炒め、ツナとAを加えてさらに炒める。
- 4 お皿に盛り付け、粉チーズ、ブラックペッパー、パセリを振りかける。



じゃがいもを細く切って、ふわっとした食感に!



にんじんしりしりをじゃがいもでアレンジした1品です!新じゃがでぜひ作ってみてください!



圏域の市町にお出かけしよう!

※詳細は、各お問い合わせ先へご確認ください。



圏域7市町のイベント情報

美祿 初夏の秋吉台ウォーキング!



大正洞から草原へ。初夏の花を楽しもう!大正洞の山中から秋吉台の草原に抜ける植物観察ツアーです。



▲詳細はこちら

日時 5月19日(日) 9時40分~14時30分  
場所 大正洞駐車場集合(美東町赤2666-1)  
料金 3,000円(お弁当付き)  
☎ 0837-62-0115

萩 萩まちじゅう博覧会



「ゆっくり、ゆったり、少人数で萩の希少を楽しむ」をコンセプトに、萩の暮らしや風景、技や食などの「おたから」にあふれるプログラムを実施し、「まちじゅうにあふれるおたからをめぐる旅」をお楽しみください。



▲詳細はこちら

期間 5月17日(金)~6月2日(日)  
料金 プログラムにより異なる  
☎ 0838-25-3290

津和野 受け継がれた歴史をたどる築城700年記念 津和野城



今年、築城から700年にあたる津和野城と城下町の変遷や歴史について絵図や古文書からご紹介します。



▲詳細はこちら

日時 5月22日(水)~8月26日(月) 8時30分~17時(火曜休館)  
料金 一般400円、中高生300円、小学生150円  
☎ 0856-72-0300

山陽小野田 第13回復活!住吉まつり



小野田セメント創設者・笠井順八翁の功績をたたえるお祭りで、ステージイベント(雅楽、吹奏楽、もちまき等)や飲食バザーもあります。



▲詳細はこちら

日時 5月25日(土) 16時30分~21時 26日(日) 10時~16時  
場所 住吉神社(東住吉町)  
☎ 0836-83-3360

宇部 新川市まつり



「植木市」を現代風にアレンジした「花と緑のチカラ」や、今年初開催の「から揚げ選手権」など、楽しめるコンテンツが盛りだくさんです。



▲詳細はこちら

日時 5月5日(日) 10時~16時30分  
場所 常盤通り周辺(常盤町1丁目7番1号付近)  
☎ 0836-31-0251

防府 佐波川こいながし



こいのぼりが佐波川の水中を泳ぐ、爽快な風景が楽しめます。河川敷では、こいのぼりを手に走って泳がす「こいのぼりの舞」が体験できます。



▲詳細はこちら

日時 5月3日(金・祝)~5日(日) 9時~16時  
場所 奈美中央橋付近(佐波川小野水辺の楽校)  
☎ 090-2004-8194



# イベントカレンダー

5/3 (金・祝)

## 山口市長杯争奪高等学校野球大会

所 山口マツダ西京きずなスタジアム

問 スポーツ交流課  
☎ 083-934-2912

市内3校(山口高校、西京高校、山口県鴻城高校)によるリーグ戦方式により開催。

5/4 (土・祝)

## 森フェス～ポン太シュタインの相対性森論～

所 国立山口徳地青少年自然の家

問 実行委員会  
☎ 0835-52-1122

森歩き、野遊び、キッチンカーなど、子どもから大人まで楽しめる自然体験がいっぱい。



5/5 (日・祝)

## 第50回青空天国いこいの広場

所 中心商店街、亀山公園ふれあい広場周辺

問 実行委員会  
☎ 083-902-0892

5/6 (月・休)

## レノファ山口FC 山口市ホームタウンデー

所 維新みらいふスタジアム

問 スポーツ交流課  
☎ 083-934-2912

スタジアム周辺では子ども向けイベントも多数開催され、山口市民向けの観戦優待・招待も用意されています。



詳しくはこちら▶

5/19 (日)

## れきみんファミリーデー

所 問 歴史民俗資料館  
☎ 083-984-3741

子ども向けギャラリートークや昔のくらしを体験。今月のテーマは「石うす・薬研(やげん)」。

6/1 (土)

## 阿知須浦まつり(十七夜祭・花火大会)

所 阿知須浦地区ほか  
問 実行委員会  
☎ 0836-65-2129



## 開催中のイベント

5/6 (月・休) まで

## 瑠璃光寺五重塔 プロジェクションマッピング

所 香山公園(香山町7-1)

問 観光交流課  
☎ 083-934-2810

## 山口オクトーバーフェスト(4/26～)

所 中央公園特設会場

問 yab 山口朝日放送  
☎ 083-933-1129

## 仁保川 こいのぼり

所 道の駅「仁保の郷」近く  
5/6 午前中まで仁保川の上を泳ぐこいのぼりが見られます。

6/16 (日) まで

## すおうのじゆせんしあと 「周防鑄銭司跡出土品」追加指定展

所 問 鑄銭司郷土館  
☎ 083-986-2368

開館40周年を迎える鑄銭司郷土館で、令和5年12月に市の文化財に追加指定した銭貨10点を展示します。5月3日～6日は鑄損じ銭のレプリカづくり体験も出来ます。(要事前申込)



長年大宝

モドさんとの出逢いを  
今後のまちづくりへ

特集記事でも御紹介をしたように、この度、本市をニューヨーク・タイムズ紙に推薦されたクレイグ・モドさんと菜香亭で対談し、さまざまな貴重な意見や感想をお伺いすることができました。

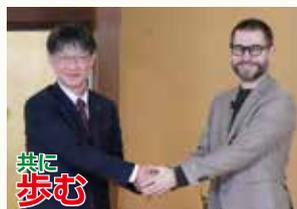
その中で、私が最もうれしかったことは、モドさんが、日常生活を営まれている地域の方々との何気ない会話や、ちょっとした触れ合いの中から、本市への愛着や魅力を感じ取っていただけなことです。

これは、きっと、市民の皆様が常日頃から抱かれています、おもてなしや歓迎の気持ち、優しい笑顔や親切な対応に自然と表れて、伝わったからであり、山口のこうした素晴らしい風土を大切に育んでこられた先人の御努力に深く感謝をしたいと思います。

モドさんからいただいた温かいお言葉は、本市が目指す将来都市像「豊かな暮らし 交流と創造のまち山口」の実現に励みとなるものばかりであり、これを契機に、これからもしっかりとまちづくりを進めてまいります。

山口市長

伊藤和貴



共に  
進む

